

はなさと はなさと よりと

第 156 号 30・1・1
TEL 35-5500

新しい年を迎えて

施設長 田中 みどり

あけましておめでとうございます。
皆様はどのように新年をお迎えになられたでしょうか。

近年の私たちの生活を取り巻く環境はその変化を増し、世界情勢はもちろん自然のもたらす気候変動などにも、特に日本は高齢となり少なくなる人々が知恵と力を合わせて、「いかに出来事に対処していくか」、その重大性を考えさせられます。こんな大変な時代だからこそ、無事に新年を迎えられたことを素直に喜びたいと思います。

昨年はなさと、開設二十周年という節目の年を迎えることができました。ひとえに、利用者さん・ボランティア・地域の皆様方に支えられての二十周年と深く感謝しております。

二十歳を過ぎ、さらに「成熟した施設」を目指します。ますます皆様に喜んでいただけるよう職員一同力を合わせ、皆でアイデアを出しあい日々の生活の中に創意工夫をしなから、一歩一歩前進していきたい



と思います。

本年も皆様にとつて実りある一年であることを願いつつ、職員一同をどうぞよろしくお願ひ致します。

はなさと作品展

十二月一日〜七日までの間、はなさと作品展を催しました。多くの方から作品をお借りし展示でき、



どれも職人のような作品ばかりで、利用者の方やご家族の方々、はなさと職員も感心して見入っていました。全部をご紹介できないのは残念ですが、一部ご紹介させていただきます。

クリスマスキャンドルサービス

十二月十八日(月)、JA岐阜厚生連看護専門学校の学生さんがクリスマスキャンドルサービスの慰問に来て下さいました。キャンドルを持った学生さんたちが、「サイレントナイト」を歌いながら二階と三階のフロアへ現れ、「ジングルベル」や「もろびとこぞりて」を素晴らしい歌声で披露して下さいました。

JA岐阜厚生連看護専門学校の皆さんと先生方、心温まるクリスマスプレゼントをありがとうございました。

